

まえがき

沖縄県は、我が国の南西部に位置し、東西約1,000 km、南北約400 kmの広大な海域に大小160の島々が点在する全国でも有数の島しょ県であり、沖縄本島を除く39の有人離島に県人口の約9%を占める約13万1千人の人々が住んでいます。

いわゆる国境離島を含む沖縄の離島地域は、我が国の領海、領空、排他的経済水域（EEZ）の保全など国家的利益の確保並びに航空機や船舶の安全な航行に重要な役割を担っています。

また、広大な海域に存在する様々な海洋資源は、今後の我が国の経済発展に寄与する可能性を有しており、さらに、沖縄の離島が有する個性豊かな自然環境や文化、歴史的遺産等は国民の健康保養や癒しの場を提供するなど、その果たす役割はますます重要になっています。

沖縄県では、これまで離島地域の活性化を図るため、各種の離島振興策を進めてきましたが、離島地域は、経済、行政などの中心から遠く離れ（遠隔性）、広大な海域に散在しており（散在性）、人口規模や市場規模が小さい（狭小性）といった条件不利性から、人的・物的な移動に係る割高なコストが住民生活を圧迫し、教育・医療・福祉等の生活環境面で厳しい状況にあるほか、製造業等の産業振興は総じて立ち後れるなど、様々な課題を抱えており、若年者の流出や急速な高齢化の進行等により地域活力の低下が懸念されている状況にあります。）

このため、県においては、沖縄振興の新たな計画において、離島振興を基本的課題の一つとして位置付け、県民全体で離島地域を支える仕組みを構築するとともに、離島住民が住み慣れた島で安心して暮らし続けることができるよう、交通、生活環境基盤、教育・文化、医療、福祉等の分野において定住条件の整備を図るほか、離島の持つ活力の維持・向上に向けて、観光リゾート産業、農林水産業、食品加工業、伝統工芸等、地域に根ざした産業の総合的・一体的な振興を図るなど、総合的な離島振興策を推進することとしております。

本書は、本県離島における人口、産業、交通・通信、生活環境施設等の状況を、可能な限り最新のデータにより更新・収録したもので、離島の現況を把握する基礎資料として御活用いただければ幸いです。

終わりに、編集に際し貴重な資料の提供等、御協力をいただきました関係各位に感謝を申し上げますとともに、離島振興施策の推進に対し今後とも一層の御協力をお願い致します。

平成24年1月

沖縄県企画部長 川上 好久